

# プロジェクト型共同研究奨励費

## 1. 目的

本制度は、本学の学術の振興を図り、社会に寄与する教育・研究活動の一層の拡充に資することを目的とし、将来的に発展性のある優れた着想を持つ共同研究かつ研究成果が期待される共同研究について研究費を支援するものです。

## 2. 募集内容

対象期間	2020年7月1日～2022年3月31日（2年間）もしくは 2020年7月1日～2023年3月31日（3年間）
額上限	《タイプA》700万円まで（年額300万円を上限とする） 《タイプB》1億5,000万円まで（年額5,000万円を上限とする）
申請資格	本学の専任教員を研究代表者とし、研究開始年度の4月1日現在で博士の学位取得後7年未満または40歳以下の研究者を含む本学所属研究者5名から10名（特別の必要がある場合は、更に学外者を3名まで研究分担者に加えることができる）で組織する共同研究
申請方法	所定の様式による計画書を作成し、所属長の承諾を得て、OTM研究費チームに提出。
受付期間	2020年4月6日（月）～5月28日（木）17:00【厳守】
審査方法	研究推進委員会の議を経て、学長が交付を決定します。 交付が決定した場合は大学教育研究評議会に報告されます。
審査基準	つぎのポイントを中心に評価を行なった上で、総合評価する。 ① 研究目的は具体的かつ明確に設定されていること。 ② 研究計画は十分に練られ、その進み方が堅実なものとなっていること。 ③ 研究の推進に十分貢献するような研究組織が構成されていること。 ④ 研究経費の内容は妥当であり、有効に使用されていることが見込まれること。 ⑤ 購入を計画している設備備品等は研究計画上、必要欠くべからざるものであること。 ⑥ 研究成果が期待できること。
重複受給等	本研究費の交付が決定した場合、交付期間中は同じ研究内容で学外研究助成に重複申請することはできない。
受給要件	研究成果を学術論文としてまとめ、学術雑誌等において発表すること。 上記に加えて、《タイプA》は本学から2022年度もしくは2023年度の科研費を申請すること。《タイプB》は各年度末までに研究推進委員会において報告すること。報告結果によっては交付期間中であっても研究費の交付を打ち切ることがあ

る。

## 1. 研究費の使途

申請書に記載した各費目の額にしたがって使用するものとする。研究の進捗状況等により研究費の使用内訳について各費目の額を変更しようとする場合には、所定の手続きを経て許可を得なければならない。ただし、軽微なものを除く。

### 《経費取扱区分表》

本研究費の勘定科目	適合する本学の勘定科目
物品費	消耗品費／消耗図書費／用品費／教育研究用機器備品
旅費	旅費交通費
謝金	謝金
その他	通信運搬費／印刷製本費／会費／賃借料／雑費／会議費／渉外費／支払手数料・報酬